

福岡県公安委員会活動状況

<定例会の主な議題及び要旨>

平成30年2月22日（木）

【報告事項】

1 2月定例議会の日程について

（総務部）

警察本部から「2月定例県議会については、2月26日から3月28日までの31日間の日程で開催される。警察関係議案として、予算2件、条例5件、専決処分報告1件の提出を予定している。」旨の報告があった。

2 平成30年度総合監察の実施計画について

（警務部）

警察本部から「平成30年度の監察項目の主な改善点については、昨年の非違事案の発生を受け、再発防止対策を踏まえたものとしており、非違事案の未然防止対策、適正な勤務管理や組織的な捜査管理の徹底のため3点の項目を追加している。対象所属は、本部、警察署等61所属を予定している。」旨の報告があった。

公安委員から「追加項目として3項目上がっているが、項目を増やすだけでなく定着したものについては削除することも検討する、ということも含めて毎年見直しをしていただきたい。」旨の発言があった。

3 小郡市における母子殺人事件被疑者の再逮捕について

（刑事部）

警察本部から「平成29年6月6日、小郡警察署管内で発生した母子殺人事件について、本年2月21日、元本県警察官である被疑者を子供2名に対する殺人で再逮捕した。」旨の報告があった。

公安委員から「物的証拠が少なく、非常に厳しい捜査だったのではないか。」旨の発言があり、警察本部から「事件発生当初から様々なケースを想定し、検察庁との打ち合わせのもと、物的証拠の収集、各種鑑定を実施するなどの捜査を進めていた。」旨の説明があった。

公安委員から「昨年、本県警察官による殺人事件や大麻事件など県警察を揺るがす非違事案が発生したことは痛恨の極みであり、今現在においても大きな影響を与えている。公安委員会としても、初任補修科生への講話などの機会に、本件事案に触れて、非違事案防止を図っていききたい。」旨の発言があった。

警察本部から「昨年重大な非違事案が多く発生し、残念な思いである。今後も職務倫理教養を推進するとともに、人事管理・業務管理を徹底し、非違事案防止に努めていく。引き続き、ご指導をお願いしたい。」旨の説明があった。

公安委員から「憶測ではなく、事実がきちんと県民に伝わるように情報の管理はしっかりと行っていただきたい。」旨の発言があった。

4 早良警察署管内における死亡ひき逃げ事件被疑者の逮捕について

（交通部）

警察本部から「早良警察署及び交通捜査課は、2月17日、福岡市早良区の国道上の信号交差点において発生した死亡ひき逃げ事件について、翌日、福岡市西区居住の男性を危険運転致死等で逮捕した。」旨の報告があった。

公安委員から「大変痛ましい事件であるが、被疑者を速やかに逮捕できたことが救いである。」旨の発言があった。

5 福井県及び福島県に対する特別派遣状況について

(警備部)

警察本部から「福井県警察及び福島県警察に対しては、継続的に機動隊員を特別派遣している。」旨の報告があった。

公安委員から「派遣回数が増減など情勢に変化はあるのか、隊員の健康チェックは、どのようにやっているのか。」旨の発言があり、警察本部から「情勢に大きな変化はない。隊員については、毎日の健康状態を管理している。」旨の説明があった。

公安委員から「同じ隊員を派遣しているのか。」旨の発言があり、警察本部から「毎回違う隊員を派遣している。」旨の説明があった。

【その他の報告事項】

- 警察本部から「本年2月17日に行われた福岡県柔道選手権大会において、本県の特別訓練員が上位5人までを独占し、3月4日に行われる九州柔道選手権大会に出場する。この大会で上位に入れば、全日本柔道選手権大会に出場することとなる。」旨の報告があった。

- 警察本部から「女性警察官の採用拡大については、従前の計画よりも早めに目標を達成できるように見直すことも含めて検討してまいりたい。」「G20財務大臣・中央銀行総裁会議の福岡市での開催が決定したことから、県警察では警備準備室を設置し、所要の体制で警備諸対策を推進する。」旨の報告があった。